

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2025-125783
(P2025-125783A)

(43)公開日
令和7年8月28日(2025. 8. 28)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード (参考)		
C 0 9 K	11/06	(2006. 01)	C 0 9 K	11/06		2 G 0 4 3		
C 0 7 F	5/02	(2006. 01)	C 0 7 F	5/02	D C S P	2 G 0 4 5		
G 0 1 N	33/50	(2006. 01)	C 0 9 K	11/06	6 6 0	4 H 0 4 8		
G 0 1 N	21/64	(2006. 01)	G 0 1 N	33/50	E			
			G 0 1 N	33/50	D			
審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 17 頁) 最終頁に続く								
(21)出願番号	特願2024-21943(P2024-21943)		(71)出願人	598015084				
(22)出願日	令和6年2月16日(2024. 2. 16)			学校法人福岡大学				
				福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号				
			(74)代理人	100145403				
				弁理士 山尾 憲人				
			(74)代理人	100145104				
				弁理士 膝館 祥治				
			(72)発明者	岩下 秀文				
				福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号				
				学校法人福岡大学内				
			(72)発明者	徳永 里奈				
				福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号				
				学校法人福岡大学内				
最終頁に続く								

(54)【発明の名称】 蛍光性化合物、その製造方法、脂質過酸化の検出剤及び脂質過酸化の検出方法

(57)【要約】 (修正有)

【課題】細胞形質膜における脂質過酸化を選択的に検出可能な蛍光性化合物の提供。

【解決手段】式(1)で表される蛍光性化合物である。R¹は炭素数4～22の鎖状脂肪族基、R²は炭素数1～3の脂肪族基、炭素数1～3の脂肪族オキシ基、炭素数1～3の脂肪族チオ基又は複素環基を表す。L¹は炭素数2～6のアルキレン基、L²は炭素数1～6のアルキレン基を表す。Arは芳香族基、Xはカルボキシ基、スルホン酸基、リン酸基を表す。Yは3価の連結基を表す。i、jは0～2、kは2～4の数を表す。

